

地域歳末たすけあい募金について

1. 地域歳末たすけあい運動とは？

地域歳末たすけあい運動は、社会福祉法に定められた唯一の募金運動である「共同募金運動」の1つです。

新たな年を迎える年末の時期に、誰もが孤立することなく、安心して暮らすことができる福祉のまちづくりへの幅広い理解と参加を図るものです。

朝霞市社会福祉協議会が、埼玉県共同募金会朝霞市支会として事務局の役割を担っています。

2. 令和2年度地域歳末たすけあい募金実績報告

(1) 朝霞市支会の目標額：4,312,000円

(2) 実績額：4,357,414円

※新型コロナウイルス感染症の影響により、街頭募金を実施しませんでした。

区 分	内 訳
戸別募金	4,336,786円
街頭募金	0円
個人募金等	20,628円
合 計	4,357,414円



(3) 募金の活用方法：

全額、埼玉県共同募金会へ送金したのち、令和2年度の実績額の93%が朝霞市内の歳末福祉事業の資金として配分されました。

●朝霞市内の主な使いみち(配分金額 3,660,000円)

①ふれあいサービス事業の無料提供

ひとり暮らしの高齢者等で経済的に厳しい世帯等を対象として、日ごろ手の届かない場所の清掃活動として、ふれあいサービス事業を10世帯に無料で利用いただきました。民生委員や市内事業所、ボランティアの協力を得て実施しています。

②歳末援護金事業

市内の福祉団体に対し、歳末支援事業として配分・助成しました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により人との交流が少なく、孤立しがちな利用者のために人とのつながりを絶やさないよう団体のイベントや利用者の見守り訪問活動等に活用されました。

(21団体交付)

地域歳末たすけあい募金について

③社協支部活動費助成金

自治会・町内会の活動支援として、社協支部活動費を交付しました。
(64自治会・町内会)

④広報紙「社協あさか」の発行

広報紙「社協あさか」を発行し、令和2年度歳末たすけあい募金納入状況の報告を行いました。
また、地域福祉の情報を市民へ届けました。

⑤生活困窮者食材等支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、失業や収入の減少で経済的に困窮している世帯、ひとり親家庭を対象に食材支援を行いました。



⑥災害用備蓄品整備事業

台風や豪雨等により朝霞市においても今後災害が発生する可能性を考慮し、災害に備え、倉庫の設置費として活用しました。
倉庫を設置したことにより、災害用備品・感染症予防対策の衛生品等を整備、一括管理することができるようになり、緊急時に迅速に対応することが可能になりました。



3. 令和3年度地域歳末たすけあい募金運動の実施

(1) スローガン:「つながり ささえあう みんなの地域づくり」

(2) 朝霞市支会の目標額:4,100,000円

※目標額は寄付に対する目安額です。

◎新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、自治会・町内会様をはじめ、市内の企業・事業所、学校等に協力いただき募金の募集を行います。

(3) 令和3年度 朝霞市内の主な使いみち(予定)

①あいはあと事業の無料提供

- ・70歳以上の方・障害のある方のみで構成されている世帯(一人暮らしの場合も含む)
- ・身体的に虚弱で室内・室外の清掃が困難である世帯
- ・家族や友人からの支援が受けられない世帯
- ・住民税非課税世帯または生活保護受給世帯
- ・民生委員・地域包括支援センター・障害者相談支援事業所・居宅介護支援事業所の紹介で申請した世帯

上記の条件、全てに該当する世帯を対象に、住居内外の清掃、整理整頓等を無料で利用いただく予定です。

②歳末援護金事業

市内の福祉団体に対し、歳末支援事業として配分・助成予定です。

③社協支部活動費助成金

自治会・町内会の活動支援として、社協支部活動費を交付予定です。

④広報紙「社協あさか」の発行

広報紙「社協あさか」を発行し、地域福祉の情報を市民に届けます。

⑤ひとり親家庭等食材支援事業

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生活が厳しい状況にあるひとり親家庭等に食材支援を行います。

⑥災害用備蓄品整備事業

災害に備え、備蓄品を購入します。